

<NGO 相談員事業> 「NGO は、『人に感謝を感じる仕事』」



ICAN 日本事務局
吉田 文
～プロフィール～
中京大学を卒業後、
留学会社営業職を経て、
2009年7月より
現職

2月には「NGO 相談員」として、大阪と浜松の国際協力イベントで出張相談を行いました。各地へ相談対応に行くと、多くの方が「NGO で働きたい・NGO を設立したい」と思っていることに驚きます。「人に感謝される仕事をしたい」「利益を追求するのではなく、社会貢献がしたい」「待遇ではなく、心が満たされる仕事を選びたい」「国際問題の解決というやりがいのある仕事に携わりたい」など、様々な動機を持った多くの方が、世界を良くしたいと相談に来てくれます。

しかし、これらのイメージは、実際に働いている私たちの感覚とは、やや異なります。私たちの活動は賛同してくださる方々のご寄付やボランティアで成り立っており、また事業地でも多くの方の協力なしに活動は成り立ちません。そのため、NGO は、「人から感謝される仕事」というより「人に感謝を感じる仕事」と言えます。収入がなければ、活動も続けられず、子どもたちの生死、そして将来に関わります。少しでも収入を増やし、経費を削減することを常に考える、そのプレッシャーは、正直企業で働いていたときよりも遥かに大きいです。待遇についても、もちろん高待遇にする必要はありませんが、非営利組織でも、職員の待遇を改善させなければ、一人ひとりの生活が成り立たず、活動も継続できません。メディアで表現されがちな「やりがいのある国際協力」とは異なり、実際の業務は、たまにやりがいさえも見失ってしまう程の数え切れない地道な業務の積み重ねでもあります。社会の不平等や暴力、理不尽さを目のあたりにし、怒りや憤り、悲しみで心が疲弊することさえあります。

そのような現実がありながらも、「是非 NGO で働いてください！」と叫びたいのも事実です。信頼できる仲間や現地の人々に支えられながら活動して、家族と同じように大切に思える人が世界に増えていきます。仲間とともに、本気で泣いたり怒ったり笑ったりしながら、私の目標は私だけの目標ではないことに気が付きます。山のような憤りの中で見つける小さな喜びは、何ものにも代え難い、私自身が生きる希望となっています。これほど心が動く仕事は他にないと胸を張って言うことができます。

「仕事を決める」のは、「生き方を決める」と同じだと私は思います。理想と現実が乖離することなく「生き方」を正しく選ぶためにも、ぜひ私たち「NGO 相談員」の実際の経験や情報を活用してください。

ある日のスケジュール

- 11:00 メールチェック
- 12:00 日本事務局会議
- 14:00 来客・問い合わせ対応
- 15:00 講演資料作成
- 16:30 事業別会議
- 17:30 フィリピンからの
支出申請処理
- 18:30 チャリティ語学
教室対応
- 20:00 帰宅



ジブチ事業

2月1・2・8日/タジュラ(ジブチ)

イエメン難民の子どもたちへの課外研修を実施



イエメン難民キャンプから車で1時間程の町、タジュラにおいて、9歳～12歳の子どもを対象とした課外研修を実施しました。自己認識能力や感情対処能力を向上するための研修を行った後、チームに分かれて地図に載っ

ている建物を探す活動を行いました。子どもたちは、「いつもと違う場所での活動は新鮮だった。」と話し、1ヶ月後に行った活動評価でも、能力が向上していることが分かりました。

街頭募金

2月16日/愛知

街頭募金ボランティアへ25名が参加



フィリピンの路上の子どもたちを応援する街頭募金活動を行いました。ボランティア25名のうち、8人は初参加、10名は前月からの継続参加でした。今回が2回目となった参加者は、「前回は初参加で、思うように自分の

想いや言葉で人を動かすことが出来ず悔しい思いをした。今回は積極的に自分の思いを発信でき、自分の声に反応して募金をしてくれた方がいた。」と喜びを語りました。

フィリピン事業 (ミンダナオ島事業)

2月/コタバト(フィリピン)

子どもの権利保護に関する地域住民との対話



2月11日～28日にかけて、マギンダナオ州マタノグ町の8村及びピキット町の16村において、子どもの権利保護に関する地域住民との対話が合計24回実施され、村役員・地域保健士・宗教リーダー等298名が参加しました。村役員のハシムさんは「今回の対話から、子どもたちの置かれている状況を知ることができた。子どもの権利を守るために地域の関係者が協働する必要があると感じた。」と感想を述べました。

チャリティ語学教室事業

2月/愛知

平日の昼間に英語授業を開講



英語やタガログ語の授業料の一部がフィリピンやイエメンの子どもたちの活動に使われる「スマイル・チケット」。これまで夜間に行われていましたが、2月から昼間のクラスもスタートしました。受講する女性からは、「平日の夜や土曜は家事もあり、通えなかった。チケットにはレッスン代でフィリピンの為にできる事が英語とタガログ語で書かれており、とても良い取り組みだと思う。」との声をいただきました。